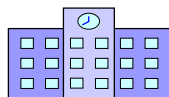


学校だより第3号 令和元年5月31日(金)

学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成



きざき



さいたま市立木崎小学校

— 児童が目を輝かせて、
明日の授業を楽しみにする学校 —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail kizaki-e@saitama-city.ed.jp



凡事を徹底することの難しさ

校長 豊島 登

先週末は、高気圧の停滞により、季節外れの真夏日が続きました。湿度が低く、風もあったので、暑さ指数(WBGT)は警戒レベルですみましたが、今年の夏も暑くなりそうな予感がします。

連休明けから始まった感染性胃腸炎の流行が、ようやく収まりつつあります。今回のウイルスは、非常に感染力が強いことが特徴です。まだ、腹痛を訴えて欠席、早退する子が何名かいます。油断せず、感染拡大の防止に努めてまいります。ご家庭でも、健康状況の把握と早めの休養にご配慮いただきますようお願いいたします。

この間、教育委員会や保健所、学校医の方々から、多くの指示や助言をいただきました。全教職員で、教室やトイレ、水道の蛇口、手すり、ドアなどの消毒作業も行いました。嘔吐物の処理なども、マニュアルに従って万全を期してきましたが、これだけ感染が広がってしまったことは残念で仕方ありません。

学校医の阪正晴先生からは、改めて感染予防の基本は手洗い・うがいであるという助言をいただきました。ご承知のとおり、胃腸炎のウイルスはアルコールなどでは死滅しません。次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤など)で消毒をする必要があります。しかし、強い薬剤のため、これで手を洗うことはできません。それでも手洗いをするのは、手に付着したウイルスを石鹼でしっかりと浮き立たせ、水で完全に洗い流すということに意味があるということです。ウイルスを死滅させることができなくても、ウイルスそのものをなくすことが手洗いによって可能になるというわけです。

学校では、早い段階から、トイレ後や給食前の手洗い・うがいを徹底するよう努めてきました。「指導を徹底させる」と言っても、何をどこまでするのかということが明確になっていなかったため、担任の先生には、子どもたちの手洗いの様子をじっくり観察してもらうことにしました。時間をかけて、指先や指の付け根、手首まで、しっかりと石鹼を泡立てているか、十分な水で洗い流しているか、清潔なハンカチで手を拭いているかなど、不十分な点を見つけて指導してもらいました。

イエローハットの創業者である鍵山秀三郎氏が提唱した言葉に、「凡事徹底」があります。これは、当たり前のことを当たり前にするということから、さらに一歩踏み込んで、徹底的に実践することを意味しています。感染症が流行してからあわててやるのではなく、学校でも家庭でも、常日頃からきちんとしておくことの大切さを肝に銘じたいと思います。

